

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京観光専門学校
設置者名	学校法人 A d a c h i 学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
観光専門課程	旅行学科トラベル専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1824 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科ツアーコンダクター専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1824 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科トラベルプランナー専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1824 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科国内旅行専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1824 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科トラベルカウンター専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1824 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科海外旅行専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1824 時間	80×2=160 時間	
	旅行学科ビジネスジャパン専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1824 時間	80×2=160 時間	
	観光ビジネス学科国際観光サービス専攻（昼間部）2年制	夜・通信	960 時間	80×2=160 時間	
	観光ビジネス学科海外留学専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1632 時間	80×2=160 時間	
	鉄道サービス学科（昼間部）2年制	夜・通信	2112 時間	80×2=160 時間	
	エアラインサービス学科（昼間部）2年制	夜・通信	800 時間	80×2=160 時間	
	ホテル学科ホテル専攻（昼間部）2年制	夜・通信	1440 時間	80×2=160 時間	

ホテル学科テーマパークホテル 専攻(昼間部) 2年制	夜・ 通信	1440 時間	80×2=160 時間	
ホテル学科バーテンダー専 攻(昼間部) 2年制	夜・ 通信	2016 時間	80×2=160 時間	
ホテル学科レストランソムリエ専 攻(昼間部) 2年制	夜・ 通信	1472 時間	80×2=160 時間	
ホテル学科バーテンダー・レス トランサービス専攻(昼間 部) 2年制	夜・ 通信	2016 時間	80×2=160 時間	
ホテル学科おもてなし ビジネス専攻(昼間部) 2年制	夜・ 通信	1280 時間	80×2=160 時間	
カフェサービス学科ハティエ 専攻(昼間部) 2年制	夜・ 通信	864 時間	80×2=160 時間	
カフェサービス学科バリスタ 専攻(昼間部) 2年制	夜・ 通信	768 時間	80×2=160 時間	
カフェサービス学科カフェサ ービス専攻(昼間部) 2 年制	夜・ 通信	768 時間	80×2=160 時間	
ブライダル学科ブライダル フラワー専攻(昼間部) 2 年制	夜・ 通信	1760 時間	80×2=160 時間	
ブライダル学科ウェディング プランナー専攻(昼間 部) 2年制	夜・ 通信	2336 時間	80×2=160 時間	
ブライダル学科ブライダル ビューティ専攻(昼間部) 2年制	夜・ 通信	2176 時間	80×2=160 時間	
ブライダル学科トレスタイ リスト専攻(昼間部) 2 年制	夜・ 通信	2112 時間	80×2=160 時間	
ブライダル学科海外ウェ ディング専攻(昼間部) 2年制	夜・ 通信	2336 時間	80×2=160 時間	
葬祭ディレクター学科(昼 間部) 2年制	夜・ 通信	640 時間	80×2=160 時間	
海外留学学科(昼間 部) 3年制	夜・ 通信	1856 時間	80×3=240 時間	
外国語コミュニケーション学 科(昼間部) 2年生	夜・ 通信	1536 時間	80×3=240 時間	

(備考)

観光ビジネス学科海外留学専攻は 2020 年度募集停止

ホテル学科バーテンダー・レストランサービス専攻は 2020 年度新設

ホテル学科バーテンダー専攻、レストランソムリエ専攻は 2020 年募集停止

カフェサービス学科カフェサービス専攻は 2020 年度名称変更、2 年生はカフェビ
ジネス専攻

ブライダル学科ブライダルビューティ専攻は 2020 年度名称変更、2 年生はブライダ
ルヘアメイク専攻

ブライダル学科ドレススタイリスト専攻は 2020 年名称変更、2 年生はドレスコーディネーター専攻
ブライダル学科海外ウエディング専攻は 2020 年度新設
海外留学学科は 2019 年度募集停止

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

東京観光専門学校事務局（東京都新宿区市谷田町 3-21）にて閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 II 部夜間部 旅行学科・ホテル学科・ブライダルビジネス学科

（困難である理由）
夜間部に入学を希望する方の需要が減ったため、平成 25 年 4 月より募集停止中

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP 掲載の事業報告書 P.8 にて公表。

URL:<http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/Rljigyohoukoku.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学院教授（現職）	2018. 4. 1～ 2021. 8. 4	経営戦略の立案・助言
非常勤	株式会社取締役（現職）	2017. 11. 15 ～ 2022. 4. 1	ガバナンスの強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京観光専門学校
設置者名	学校法人 A d a c h i 学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
(作成について)	
<p>各授業科目については、毎年度、職業実践専門課程に基づき学科での会議（教育課程編成委員会）を実施し授業科目の設定・講義内容を検討・検証後、学内の会議で承認。その後、各授業を担当する教員により、作成を行う。</p> <p>学内統一様式を使用し、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標、講義概要、授業計画、成績評価方法、教科書及び予定予算を全科目共通で記載する。</p>	
(時期について)	
<p>翌年度の講義予定は10月に担当教員が作成し12月の学内会議で承認後決定。4月上旬に学内での閲覧を開始する。</p>	
授業計画書の公表方法	東京観光専門学校事務局（東京都新宿区市谷田町 3-21）にて閲覧可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>学生ハンドブックにおいて、学内の成績評価・卒業要件について規定している。各期、各科目ごとに出席評価、試験評価（レポート、作品、実技等含む）などによって総合的に評価を行っている。</p> <p>当該科目の授業について出席率70%未満の学生及び、試験未受験者の場合は、成績評価の対象外とし履修単位の認定を行わない。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験（定期試験、実技試験等）によって評価される。当校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～90をA、89～70をB、69～60をCとして、成績が通知される。</p> <p>全科目の合計点を各生徒が履修済みの総科目数で除した数を平均点として算出する。</p> <p>成績評価方法は、学内で誰でも閲覧でき、入学時に配布する学生ハンドブックで通知する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>東京観光専門学校事務局（東京都新宿区市谷田町 3-21）にて閲覧可能</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>東京観光専門学校は実社会に通用する「人財」を育成・輩出することを目的としたカリキュラムを実施している。卒業要件については、学生ハンドブックにおいて基本科目128単位すべてを受講し108単位以上の修得と各学科で定める卒業要件を満たすことが定められている。詳細については、全学生配布の学生ハンドブックに記載している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>東京観光専門学校事務局（東京都新宿区市谷田町 3-21）にて閲覧可能</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京観光専門学校
設置者名	学校法人 A d a c h i 学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	最新情報を HP にて公表している。 http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/R1taisayaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	最新情報を HP にて公表している。 http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/R1sonekikeisan.pdf
財産目録	最新情報を HP にて公表している。 http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/R1zaisan.pdf
事業報告書	最新情報を HP にて公表している。 http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/R1jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	最新情報を HP にて公表している。 http://www.tokyo-senmon.jp/kokai/pdf/R1kansa.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	旅行学科トラベル専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1632 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	928 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2560 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		55人	8人	6人の内数	6人の内数	12人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	1人 (4.8%)	18人 (85.7%)	2人 (9.5%)
(主な就職、業界等) JTBグループ、HISグループ、日本旅行グループ、近畿日本ツーリストグループ、 びゅうトラベルサービスなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	4人	7.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失、健康上の理由など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	旅行学科 ツアーコンダクター専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920(単位時間)/単位	1632 単位時間 /単位	単位時間 /単位	928 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2560(単位時間)/単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人	6人	2人	6人の内数	6人の内数	12人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	3人 (60.0%)	2人 (40.0%)
（主な就職、業界等） JTBグループ、HISグループ、日本旅行グループ、近畿日本ツーリストグループ、びゅうトラベルサービスなど			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	2人	25.0%

(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	旅行学科 トラベルプランナー専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1632 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	928 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2560 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		36人	7人	6人の内数	6人の内数	12人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) JTBグループ、HISグループ、日本旅行グループ、近畿日本ツーリストグループ、			

びゅうトラベルサービスなど
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など
(主な学修成果(資格・検定等)) 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	6人	16.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	旅行学科 国内旅行専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1632 単位時間 / 単位	928 単位時間 / 単位	2560 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	9人	4人	6人の内数	6人の内数	12人の内 数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	5人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) JTBグループ、HISグループ、日本旅行グループ、近畿日本ツーリストグループ、 びゅうトラベルサービスなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	1人	7.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	旅行学科 トラベルカウンター専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1632 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	928 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2560 単位時間 / 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人	11人	1人	6人の内数	6人の内数	12人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） JTBグループ、HISグループ、日本旅行グループ、近畿日本ツーリストグループ、びゅうトラベルサービスなど			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0%

(中途退学の主な理由)
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	旅行学科 海外旅行専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1632 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	928 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2560 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		5人	3人	6人の内数	6人の内数	12人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) JTBグループ、HISグループ、日本旅行グループ、近畿日本ツーリストグループ、			

びゅうトラベルサービスなど
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など
(主な学修成果(資格・検定等)) 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	1人	25.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	旅行学科 ビジットジャパン専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920(単位時間)/単位	1632 単位時間 /単位		928 単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			2560(単位時間)/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		9人	8人	6人の内数	6人の内数	12人の内 数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業開始時期前に事前に学力テストを行いクラスを2クラスに分け授業を行う。 また6月に中間テストを実施し再度クラス分けを行い学力別に授業を進める。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (81.8%)	2人 (18.2%)
(主な就職、業界等) JTBグループ、HISグループ、日本旅行グループ、近畿日本ツーリストグループ、 びゅうトラベルサービスなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者資格など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	3人	18.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	観光ビジネス学科 国際観光サービス専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1888 単位時間 / 単位	2016 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	640 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2656 単位時間 / 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200 人の内数	249 人	241 人	6 人の内数	12 人の内数	18 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 1. を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 3. を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 4. を参照
学修支援等 （概要） 全 16 回の授業の中で、7 回終了時に小テストを実施し学生の理解度の把握に努めている。また、出席・成績不良者には担任教員が面談を行い学習状況の改善及び支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
102 人 (100%)	7 人 (6.9%)	71 人 (69.6%)	24 人 (23.5%)
（主な就職、業界等） 小田急トラベル、カモメツアーリスト、タワージャパン、日盛国際、日本春秋旅行 アゴラホスピタリティーズ、日本国際観光、東日本国際旅行社など			
（就職指導内容） 「履歴書、エントリーシート添削」「面接対策」「グループディスカッション対策」 「業界研究」「SPI 対策」など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 全国通訳案内士、旅程管理主任者、旅行業務取扱管理者、世界遺産検定、TOEIC A X E S S 検定、日本語能力試験、ビジネス日本語能力テスト、ニュース検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
249 人	39 人	15.7%

(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	観光ビジネス学科 海外留学専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1152 単位時間 / 単位	64 単位時間 / 単位	512 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			1728 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200 人の内数		0 人	0 人	6 人の内数	12 人の内数	18 人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全16回の授業の中で、7回終了時に小テストを実施し学生の理解度の把握に努めている。また、出席・成績不良者には担任教員が面談を行い学習状況の改善及び支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(主な就職、業界等)
(就職指導内容) 「履歴書、エントリーシート添削」「面接対策」「グループディスカッション対策」 「業界研究」「SPI対策」など
(主な学修成果(資格・検定等))
(備考)(任意記載事項) 2019年度新設のため卒業生なし 2020年度募集停止 2019年1名入学したが、他学科へ移ったため在籍数0名

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	鉄道サービス学科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792(単位時間)/単位	1792 単位時間/単位	1120 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2912(単位時間)/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
400人	282人	0人	10人の内数	12人の内数	22人の内数		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業にて担当教員による時間外や補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担当教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
162人 (100%)	0人 (0%)	157人 (96.9%)	5人 (3.1%)
(主な就職、業界等) 東京地下鉄・JR各社・関東私鉄各社・東武バス・関東バス・東急トランセ JALグランドハンドリング・羽田空港サービスなど			
(就職指導内容) SPI（言語・非言語）、エントリーシート添削、面接指導、業界研究、プレゼンテ ーション指導、資格取得など			
(主な学修成果（資格・検定等）） サービス介助士、旅行業務取扱管理者、運行管理者、話しことば検定、地理検定など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
314人	14人	4.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	エアラインサービス学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1856 単位時間 / 単位	2240 単位時間 / 単位	320 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2560 単位時間 / 単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140人	98人	17人	4人の内数	8人の内数	12人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業にて担当教員による時間外や補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担当教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	1人 (2.6%)	34人 (89.5%)	3人 (7.9%)
（主な就職、業界等） 全日本空輸株式会社、JALスカイ、ANA成田エアポートサービス、JALグランドサービス、スカイマークなど			
（就職指導内容） 「就職対策」エントリーシート通過のための文章表現力 「面接対策」 「グループディスカッション対策」など			
（主な学修成果（資格・検定等）） TOEIC、サービス介助士、AXESS検定（国内、国際） マナープロトコール検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
105人	15人	14.3%

(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	ホテル学科ホテル専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1888 単位時間 / 単位		1184 単位時間 / 単位		
			3072 単位時間 / 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	90人	22人	6人の内数	20人の内数	26人の内 数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
59人 (100%)	2人 (3.4%)	49人 (83.0%)	8人 (13.6%)
(主な就職、業界等) 帝国ホテル・ホテルニューオータニ・ホテルオオクラ・ヒルトンホテル・シェラトン ホテルなど			

(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など
(主な学修成果 (資格・検定等)) レストランサービス技能士 (HRS) ・ホテルビジネス実務検定など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
99 人	12 人	12.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	ホテル学科 テーマパークホテル専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間 / 単位	1760 単位時間 / 単位	1312 単位時間 / 単位	3072 単位時間 / 単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人	48 人	1 人	6 人の内数	20 人の内数	26 人の内 数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 4. を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	21人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 帝国ホテル・ホテルニューオータニ・ホテルオオクラ・ヒルトンホテル・シェラトンホテルなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) レストランサービス技能士（HRS）・ホテルビジネス実務検定など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46人	2人	4.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務	観光専門課程	ホテル学科バーテンダー専攻	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1600 単位時間 / 単位	1472 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			3072 単位時間 / 単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
10人	13人	0人	6人の内数	20人の内数	26人の内 数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	4人 (50.0%)	4人 (50.0%)
(主な就職、業界等) 帝国ホテル・ホテルニューオータニ・ホテルオオクラ・ヒルトンホテル・シェラトンホテルなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) レストランサービス技能士（HRS）・ホテルビジネス実務検定など			
(備考)（任意記載事項） 2020年度募集停止のため在籍は2年生のみ			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	ホテル学科 レストラン・ソムリエ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920(単位時間)/単位	1888 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1184 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3072(単位時間)/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	1人	0人	6人の内数	20人の内数	26人の内 数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行 っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 帝国ホテル・ホテルニューオータニ・ホテルオオクラ・ヒルトンホテル・シェラトン ホテルなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			

(主な学修成果 (資格・検定等)) レストランサービス技能士 (HRS) ・ホテルビジネス実務検定など
(備考) (任意記載事項) 2020 年度募集停止のため在籍は 2 年生のみ

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	ホテル学科 バーテンダー・レストランサービス専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1920 単位時間 / 単位	2080 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	992 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			3072 単位時間 / 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20 人	15 人	4 人	6 人の内数	20 人の内数	26 人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】 の 4. を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。

また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 帝国ホテル・ホテルニューオータニ・ホテルオオクラ・ヒルトンホテル・シェラトンホテルなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) レストランサービス技能士（HRS）・ホテルビジネス実務検定など			
(備考)（任意記載事項） 2020年新設のため卒業生なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	ホテル学科おもてなし ビジネス専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920(単位時間)/単位	672 単位時間 /単位		544 単位時間 /単位		
			1216(単位時間)/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	35人	35人	6人の内数	20人の内数	26人の内 数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 帝国ホテル・ホテルニューオータニ・ホテルオオクラ・ヒルトンホテル・シェラトンホテルなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) レストランサービス技能士（HRS）・ホテルビジネス実務検定など			
(備考)（任意記載事項） 2019年度新設のため卒業生なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	8人	33.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	カフェサービス学科 パティシエ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1952 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	1120 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			3072 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		4人	2人	2人の内数	4人の内数	6人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	4人 (80.0%)	1人 (20.0%)
（主な就職、業界等） タリーズコーヒージャパン・東和フードサービス・UCCフードサービスシステム・ルネッサンスリゾート沖縄など			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			

(主な学修成果 (資格・検定等)) レストランサービス技能検定・フードコーディネーター検定・フードアナリスト検定 など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	1人	11.1%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務	観光専門課程	カフェサービス学科 バリスタ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1952 単位時間 / 単位	1120 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			3072 単位時間 / 単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15人	3人	1人	2人の内数	4人の内数	6人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	1人 (50.0%)	1人 (50.0%)
(主な就職、業界等) タリーズコーヒージャパン・東和フードサービス・UCC フードサービスシステム・ルネッサンスリゾート沖縄など			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) レストランサービス技能検定・フードコーディネーター検定・フードアナリスト検定など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	1人	25.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	カフェサービス学科 カフェサービス専攻（1年） カフェビジネス専攻（2年）	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792(単位時間)/単位	2048 単位時間/単位		1056 単位時間/単位		
			3104(単位時間)/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		

10人	3人	2人	2人の内数	4人の内数	6人の内数
-----	----	----	-------	-------	-------

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	3人 (75.0%)	1人 (25.0%)
（主な就職、業界等） タリーズコーヒージャパン・東和フードサービス・UCC フードサービスシステム・ルネッサンスリゾート沖縄など			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） レストランサービス技能検定・フードコーディネーター検定・フードアナリスト検定など			
（備考）（任意記載事項） 2020年専攻名変更			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	3人	33.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		観光専門課程	ブライダル学科 ブライダルフラワー専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792(単位時間)/単位	1152 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1408 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2560(単位時間)/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		4人	0人	4人の内数	11人の内数	15人の内 数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 結婚式専門式場、ホテル、レストラン、ドレスショップ、ジュエリーなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 3級ブライダルコーディネーター技能検定など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務	観光専門課程	ブライダル学科ウェディング プランナー専攻	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	1632 単位時間 / 単位	1440 単位時間 / 単位	3072 単位時間 / 単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70人	38人	0人	4人の内数	11人の内数	15人の内 数

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	27人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 結婚式専門式場、ホテル、レストラン、ドレスショップ、ジュエリーなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 3級ブライダルコーディネーター技能検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50人	1人	2.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	ブライダル学科 ブライダルビューティ専攻 (1年)ブライダルヘアメイク 専攻(2年)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1792(単位時間)/単位	1184 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1760 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2944(単位時間)/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	8人	0人	4人の内数	11人の内数	15人の内		

					数
--	--	--	--	--	---

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 結婚式専門式場、ホテル、レストラン、ドレスショップ、ジュエリーなど			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 3級ブライダルコーディネーター技能検定など			
（備考）（任意記載事項） 2020年専攻名専攻			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	1人	50.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務		観光専門課程	ブライダル学科 ドレススタイリスト専攻(1年) ドレスコーディネーター専攻(2年)	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	1792 単位時間 / 単位	1216 単位時間 / 単位		1728 単位時間 / 単位			2944 単位時間 / 単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
40人	16人	0人	4人の内数	11人の内数	15人の内数			

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	5人 (83.3%)	1人 (16.7%)

(主な就職、業界等) 結婚式専門式場、ホテル、レストラン、ドレスショップ、ジュエリーなど
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など
(主な学修成果(資格・検定等)) 3級ブライダルコーディネーター技能検定など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	1人	6.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由、学習意欲の喪失など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	ブライダル学科 海外ウェディング専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	1920 単位時間 / 単位	講義	演習	実習	実験	実技
			1632 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	1440 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
		3078 単位時間 / 単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	0人	0人	4人の内数	11人の内数	15人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (0%)	人 (91.7%)	人 (8.3%)
(主な就職、業界等) 結婚式専門式場、ホテル、レストラン、ドレスショップ、ジュエリーなど			
(就職指導内容) 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 3級ブライダルコーディネーター技能検定など			
(備考)（任意記載事項） 2020年新設のため卒業生無し。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	葬祭ディレクター学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	1792 単位時間 / 単位	講義	演習	実習	実験	実技
			1504 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	928 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			2432 単位時間 / 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		

55人	40人	0人	2人の内数	8人の内数	10人の内数
-----	-----	----	-------	-------	--------

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	9人 (90.0%)	1人 (10.0%)
（主な就職、業界等） 葬儀会社、湯灌・納棺会社、セレモニーフラワー会社など			
（就職指導内容） 就職対策、面接練習、応募書類添削、グループディスカッション対策など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 葬祭ディレクター2級など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		観光専門課程	海外留学学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2880 単位時間 / 単位	2664 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	1496 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			4160 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		2人	0人	1人の内数	0人の内数	1人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) HIS・TEI・スカイパックス・羽田旅客サービス・ニューアート・シーマ ANA インターコンチネンタルホテル・ヒルトン小田原リゾートホテル・など			
(就職指導内容) SPI (言語・非言語)、エントリーシート添削、面接指導、業界研究、プレゼンテーション指導、資格取得など			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 英検・TOEIC・総合旅行業務取扱管理者・旅程管理者など
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	観光専門課程	外国語コミュニケーション学科 学科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2720 単位時間 / 単位	1664 単位時間 / 単位		960 単位時間 / 単位		
			2624 単位時間 / 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	40人	0人	1人の内数	5人の内数	6人の内 数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>各授業で担当教員による時間外の補講や検定試験等の特別授業の設定を行っている。 また、担任教員による進路指導や生活指導を定期的な面談実施により学生の支援を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (0%)	人 (0%)	人 (0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>HIS・TEI・スカイパックスアーツ・羽田旅客サービス・ニューアート・シーマ ANA インターコンチネンタルホテル・ヒルトン小田原リゾートホテル・など</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>S P I（言語・非言語）、エントリーシート添削、面接指導、業界研究、プレゼンテーション指導、資格取得など</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>英検・TOEIC・総合旅行業務取扱管理者・旅程管理者など</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p> <p>2020年新設のため卒業生無し。</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
<p>(中途退学の主な理由)</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任との個人面談、保護者との面談、初年度教育の徹底、補習の実施など</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
旅行（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
観光ビジネス（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
鉄道サービス（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
エアラインサービス（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
ホテル（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
カフェサービス（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
ブライダル（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
葬祭ディレクター（1年）	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他

外国語コミュニケーション学科 (1年)	150,000円	900,000円	330,000円	教育充実費・施設費他
海外留学(1年)				2019年度募集停止
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.tit.ac.jp/disclosure/pdf/information_disclosure.pdf		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者として、関係企業、協会、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。評価内容は理事会、学校運営委員会などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益財団法人協会 理事	2020.4.1～2021.3.31	協会
一般社団法人 理事長	2020.4.1～2021.3.31	協会
特定非営利活動法 理事長	2020.4.1～2021.3.31	協会
旅行会社 役員	2020.4.1～2021.3.31	企業
ブライダル業 役員	2020.4.1～2021.3.31	企業
飲食業 役員	2020.4.1～2021.3.31	企業
アメリカ留学コンサルティング代表者	2020.4.1～2021.3.31	企業
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.tit.ac.jp/disclosure/pdf/information_disclosure.pdf		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.tit.ac.jp/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4とする。